

大分大学教育学部附属中学校

令和2年度 オンライン授業の取組

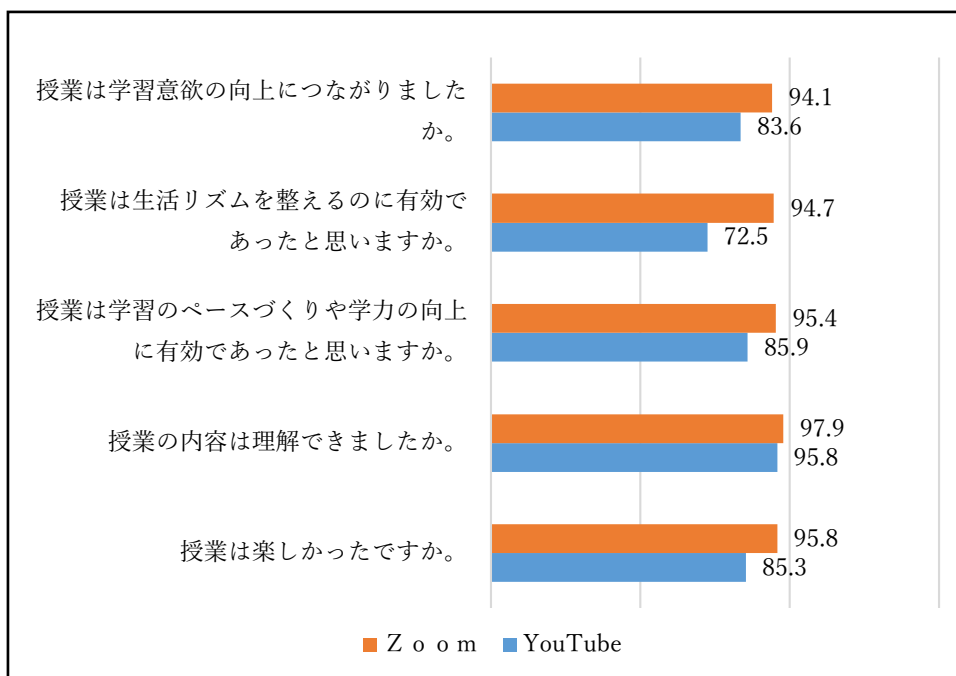
1. はじめに

本校では、今年度の臨時休校中にオンライン授業（YouTube 動画授業、附中 LMS×Zoom双方向授業 ※以下、YouTube 授業、Zoom 授業）の取組を実施しました。生徒の学力保障と心身の健康維持を目的として行いましたが、全校生徒のアンケート結果からも、一応の成果があったものと考えられます。本リーフレットでは、オンライン授業実施までの過程と、取組全体の成果と課題、各教科の取組の実際について紹介します。

2. 生徒アンケート結果より

どの項目においても肯定的な回答が多く得られ、目的を達成することができました。

また、YouTube 授業と Zoom 授業を比較すると、どの項目においても Zoom 授業のポイントが上回っていました。特に学習意欲の向上や学習のペースづくり、生活リズムを整えることにおいては、Zoom 授業の方が有効であると考えられます。



3. 実施までの過程



本校では LMS（学習管理システム：Learning Management System）を導入し、Zoom での双方向授業の準備を進めました。LMS の構築と並行して、YouTube 動画授業の研修や Zoom の使い方の研修を行いました。また、家庭で機器などの環境を整えてもらうために調査やお願いをすることに加え、生徒指導部からネットモラルやインターネットを利用する際のルールやマナー等を HP やメールで周知したり、分散登校の際に指導したりしました。

参考「1からはじめよう！VAIO パソコン教室」

<https://www.sony.jp/support/vaio/beginner/school/internet/08.html>

インターネットのルールやマナー5 箇条

インターネットは、情報収集やコミュニケーションのツールとして、とても便利なものです。
その反面、使いかたを誤ると、人を傷つけてしまったり、人から傷つけられてしまったりする場合があります。
インターネットの世界にも守るべきルールやマナーが存在します。そのルールやマナーを理解しておけば、トラブルを、未然に防ぐことができるかもしれません。



- 第1条 個人情報や安易に記載しない
- 第2条 ほかの人が不快に思うようなことはしない
- 第3条 著作権や肖像権に注意する
- 第4条 セキュリティソフトを導入する
- 第5条 メールを送る前には必ず宛先や内容を確認する

4. 取組の実際

①YouTube 動画授業(5/7 木～15 金)

- 各学年26授業, 全校で78授業をアップロード
- 校長からのメッセージや学年集会をアップロード

〈国語科の授業例〉

<https://youtu.be/srsfePmSif4>



〔時間割例〕

1限… 9:00～ 9:40
2限… 10:00～ 10:40
3限… 11:00～ 11:40
—昼食・休憩—
4限… 13:00～ 13:40

■動画配信授業…5月7日(木)～5月15日(金)

■時間割(この時間を目安に学習しましょう。)

■動画配信(約10分)+課題(30分)=1コマ40分授業

■教科書・ワーク・ノート・筆記用具を準備しましょう。

■授業の内容はノートにとりましょう。

■課題にはしっかり取り組みましょう。

②附中LMS×Zoom 双方向授業(5/18 月～20 水)

- 各学年1日4時間の双方向授業を実施

双方向オンライン授業

＜5月18日(月)時間割＞

準備… 8:00～ 8:20
1限… 8:30～ 9:20
2限… 9:35～ 10:15
3限… 10:30～ 11:10
4限… 11:25～ 12:05

＜5月19日(火)・20日(水)時間割＞

準備… 8:00～ 8:20
朝学活… 8:20～ 8:30
1限… 8:45～ 9:25
2限… 9:40～ 10:20
3限… 10:35～ 11:15
4限… 11:30～ 12:10

		《1年》				
		A組	B組	C組	D組	
5月18日 オンライン授業	(月)	1限	学活(オンライン授業練習)			
		2限	総合(トラブル対応)			
		3限	国	音	数	社
		4限	社	国	体	数
5月19日 オンライン授業	(火)	1限	数	社	国	音
		2限	英	数	社	国
		3限	理	国	英	社
		4限	体	英	理	数



音楽の授業の様子



生徒会役員選挙の様子

※現在は, 全校朝会, 学年集会, 生徒会役員選挙, 生徒総会, 講演, 授業における企業等とのディスカッションなどに活用しています。

5. 成果と課題

- 単元のまとまりを意識することで, 付けたい力を明確にした授業をつくることができた。
- 「問い」の工夫Ⅰ(学習者の主体性を生む手立て・プロセス)を意識して導入(提示する資料や発問等)を考慮することで, 学習者の関心を高めることができた(教科によっては, 普段ふせんを用いて行う単元の導入のグループ活動をチャットやブレイクアウトセッション(グループミーティング)で行い, 学習者の意見を基に, 単元の見通しを立てることができた)。
- パワーポイントを用いて授業を行ったことで, 学習者は授業に取り組みやすくなり, 理解しやすくなった(見やすかった, 要点がわかりやすかった, ノートを取りやすかった等※生徒アンケートの記述より)。
また, パワーポイント資料をLMSにアップロードすることで, 学習者の授業後の学習が充実した。
- ブレイクアウトセッションで班での意見交流ができたことが多面的な理解につながった。
- チャットでの質問にレスポンスすることで, 学習者の疑問の解決やつまづきに対する支援ができた。
- 授業の最後に復習の仕方や次時の学習につながる発問等を行うことで, 学習者は見通しをもって家庭学習を行うことができた。
- チャットやZoomのアンケートから学習者の理解の様子を把握し, 次時の学習につなげることができた。
- △ビューモニターで学習者全員の様子を把握することが困難だった(作業が進んでいるか等)。
- △学習者のまとめや振り返りを随時確認することができず, 登校再開後にしか見取れなかった。
- △ブレイクアウトセッションにおいて, グループによっては話し合いが上手くいかなかった(司会者の必要性を感じた)。
- △全体共有の場面で議論にはならず, 指導者との一問一答のようなやり取りになってしまった。
- △各授業(めあてや課題)に即した資料やワークシートを作成し事前にLMS等で配布すると, より付けたい力を養うことにつながる。
- △適切な評価の実現や1人1台端末の活用に向けても, まとめや振り返りを, LMS等で提出させフィードバックしたり, 蓄積したりしていく必要がある。



めあて・課題について

○社会的な社会的な見方・考え方が働くような課題（めあて）を設定するとともに、その課題の追究に即した資料やワークシートを LMS で事前に配布する（生徒が事前にプリントアウト）。

対話を促す手立て

○チャットやブレイクアウトセッションにおいて、書き込む内容や話し合う内容を吟味し、生徒にしっかりと確認する。

○ブレイクアウトセッションでは、司会者（コーディネーター）を決め、話合いのルールを設ける。

○ホワイトボードの活用や意見交流・共有アプリを活用する（練習を行う）。

評価、学びを修正する場面の設定

○生徒のワークシート、まとめや振り返りを LMS を通じて提出させ、蓄積する。

○ZOOM や LMS のアンケート機能を用い、適宜自己評価やアンケート、小テストを行う。

○まとめや振り返りをメールや LMS を用いて提出させ、フィードバックを行う。

○まとめや振り返りをグループや全体で共有する場面を設定する。また、共有する手段（適切なアプリ等）の検討を今後行っていく。

その他

○実物資料に代わるもの（地球儀アプリ等）、自己の思考を促すもの（どこでも方位図法アプリ等）を用いる。

○ワークシートを作成し、活用する（上記理由に加え、ノートを取る時間の確保が困難なため）。

○LMS に授業で用いた資料（パワーポイント資料等）をアップロードする（著作権に留意）。

○予習や復習について、適切な指示を行う。その際、文部科学省 HP「子供の学び応援サイト 学習支援コンテンツポータルサイト」にある「NHK for school」等を適宜活用する。

○C 層に対する支援を個別に ZOOM やメール等で行う。

[大分大学教育学部附属中学校 \(oita-u.ac.jp\)](http://oita-u.ac.jp)

既存のコンテンツ

評価が知識・技能

見取り アンケートやレポート提出 テスト

課題

今年度は「『学びに向かう力』を育成する学習評価-自らの学びを振り返り、調整させる工夫-」を研究主題として

「問い」の工夫を位置付け

ベースに単元構成

を研究主題として

コロナ

問いの工夫をベースに

問い

単元構成 単元構想

りん

2.

「学びに向かう力」を育成する学習評価

1人1台端末 振り返りの蓄積

自らの学びを振り返り

を促す手立て

○チャットやブレイクアウトセッションにおいて、書き込む内容や話し合う内容を吟味し、生徒にしっかりと確認する。

○ブレイクアウトセッションでは、司会者（コーディネーター）を決め、話合いのルールを設ける。

○ホワイトボードの活用や意見交流・共有アプリを活用する（練習を行う）。

評価、学びを修正する場面の設定

○生徒のワークシート、まとめや振り返りを LMS を通じて提出させ、蓄積する。

○ZOOM や LMS のアンケート機能を用い、適宜自己評価やアンケート、小テストを行う。

○まとめや振り返りをメールや LMS を用いて提出させ、フィードバックを行う。

○まとめや振り返りをグループや全体で共有する場面を設定する。また、共有する手段（適切なアプリ等）の検討を今後行っていく。

オンラインで質問できるように

フィードバックの仕方

ライブカメラ

振り返り、まとめ 評価

個別のフォロー

資料を LMS に

個別最適化

基礎的・基本的な知識

単元による

教科の本質

○顔を出すことについて できるなら出す？ 健康観察の際は顔を出す？

背景への配慮。家庭環境が見える。できるだけ背景が写らないように指導。

○周りの音が入ってトラブル。

○特性がある生徒で、生活音や他の生徒の話合いの声などに反応してパニックが起きた。

○スマホではきつい。

○ヘッドセットがあると大分いい。

○LMS にはいつでも入れるが、ZOOM 授業は開始の10分前くらいから

○トイレや体調不良などについては、ビデオを停止して対応させる。

○授業中のマナー(マイクの ON・OFFや動画のON・OFF,勝手に操作するなどへの注意,モラル)

○家族が後ろからずっと見ている,,,

○Line 等で私語など許さん。手元に余計なものを置かない。

○みんなで創ることが大切 信頼関係

○機器トラブルなどで、その日のみ見れない生徒の対応をどうするか？

・機器のない生徒→学校 PC 室にて参加

・その日に限って機器の不具合→資料配布

気が付いたトラブルの原因&対応